

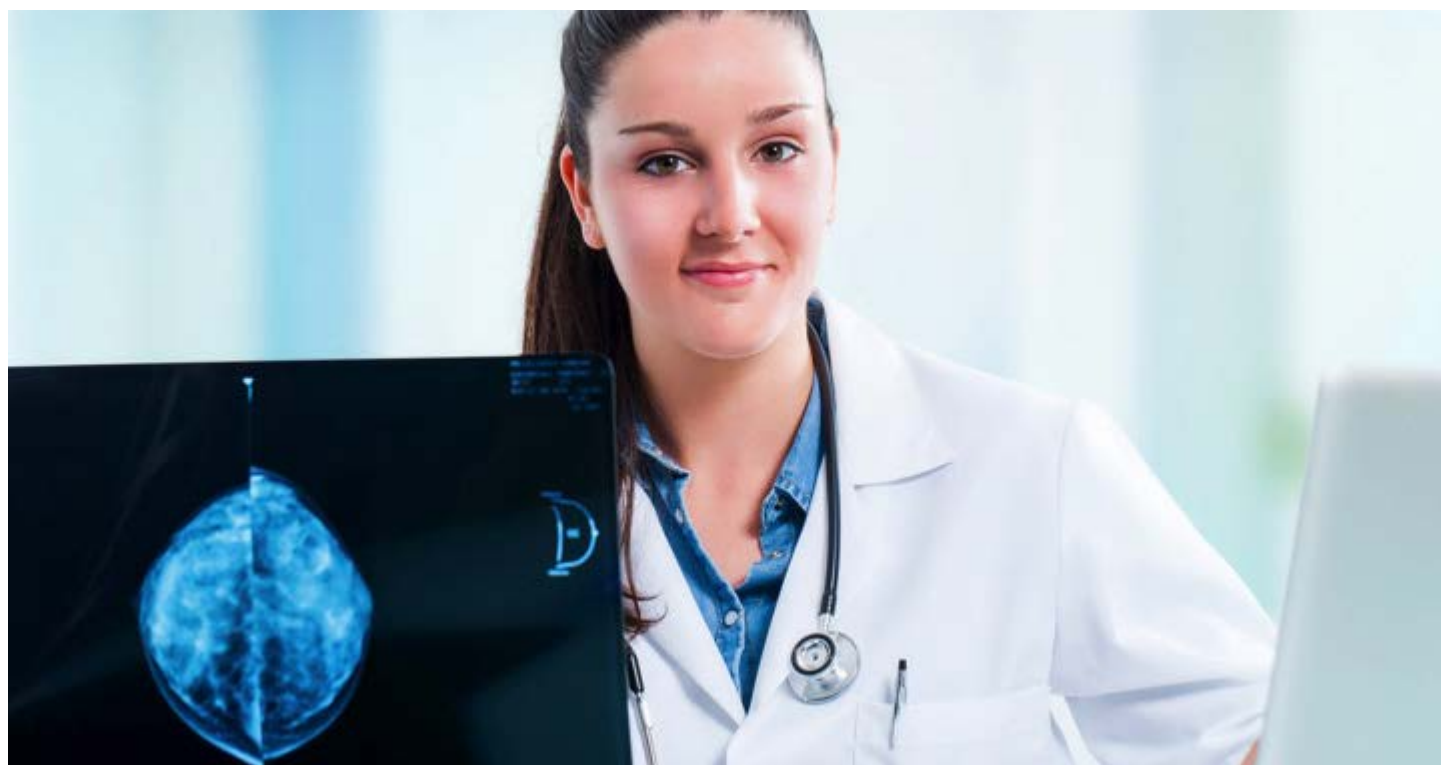
2015年10月13日

マンモグラフィーにはやっぱり効果があった？イギリスで死亡率との関連

16万人を17年追跡

from **The Lancet. Oncology**

 ブックマーク  1  ツイート  7



写真はイメージです。本文の内容とは関係ありません。

(C) karelnoppe - Fotolia.com

乳がんを疑わせる要素のない女性が毎年マンモグラフィーを受けても、死亡を防ぐことにはつながらないという報告があります。しかし、イギリスの大規模調査の結果、マンモグラフィーを受けた人で乳がんによる死亡が少なかったことが報告されました。

◆40代でマンモグラフィーを受けたあとの効果

この研究では、イギリスで39歳から41歳の女性が対象となり、48歳になる年まで毎年マンモグラフィーの検査を受けるかどうかによって、乳がんの発症や乳がんによる死亡に違いがあるかどうか調べられました。

対象者はランダムに、毎年マンモグラフィーを受ける群と通常のケアを受ける群に分けられ、48歳を過ぎたあとも含めおよそ17年間にわたって、経過が追跡されました。

◆診断後10年以内の死亡が減少

次の結果が得られました。

1990年10月14日から1997年9月25日までの間に、160,921人の参加者がランダムに割り付けられ、介入群の53,883人の女性と、通常の医療ケアに割り付けられた106,953人がこの解析に含まれた。

対照群に比べて介入群では、介入フェーズの期間に診断された腫瘍について、診断から最初の10年間の乳がんによる死亡率の有意な減少が見られた（率比0.75、95%信頼区間0.58-0.97）が、その後は差がなかった（率比1.02、0.80-1.30）。介入群と対照群で、17年のフォローアップ期間の乳がん全体の発症率は類似していた（率比0.98、0.93-1.04）。

マンモグラフィーを受ける群で、毎年マンモグラフィーを受けた期間に診断された乳がんによる10年以内の死亡が、通常のケアを受けた群と比べて少なくなっていました。診断から10年を超えての死亡率には違いがありませんでした。

また、乳がんが診断される率にはどちらの群でも違いが見られず、研究班は「累積発症率の数値は、**過剰診断が悪く見てもわずかしかない**ことを示唆している」と解釈しています。

ほかの国で行われた研究では、毎年マンモグラフィーを受けても乳がんによる死亡が減少しなかったという結果のものがあり、マンモグラフィーが死因になりにくいタイプのがんまで過剰に診断してしまうのではないかという意見に結びついています。

研究によって違った結果が出ている理由にはいろいろな可能性が考えられます。国によって病気の頻度に違いがあるためなのか、検査の違いによるのか、統計の手法によって違って見えているのか、詳しく検討することで、マンモグラフィーの意義について議論がさらに深まるかもしれません。

◆参考文献

Effect of mammographic screening from age 40 years on breast cancer mortality in the UK Age trial at 17 years' follow-up: a randomised controlled trial.

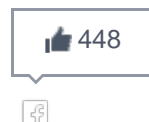
Lancet Oncol. 2015 Sep

[PMID: [26206144](#) □]

◆関連記事

[マンモグラフィーは乳がんによる死亡を減らさないのか？1600万人の女性を調べても…マンモグラフィーに意味はあったのか](#)

いいね！と思ったらシェア



Facebookページもフォローしよう



6万

この記事に関連する病気や薬:

□ 乳がん

Written by 大脇 幸志郎 [»執筆者一覧](#)

*この記事は、医療・医学に関する理解・知識を深めるためのものであり、特定の治療法・医学的見解を支持・推奨するものではありません。

この記事についての議論

コメント0件

並び替え

ハイライト ▼



コメントを追加...



Facebook Comments Plugin

この記事もどうぞ



マンモグラフィーよりも乳がんを見つけやすい新たな画像検査 [2015シェア](#)

[Eur Radiol]



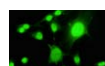
乳がん患者のストレスに「瞑想」が効果的 [727シェア](#)

[Cancer]



男性の乳がんと性ホルモンの関係 [290シェア](#)

[J. Clin. Oncol.]



がんが光るスプレー、1mm未満の乳がんを検出 [3167シェア](#)

[Sci Rep]



甲状腺がんの治療で大量の放射性ヨウ素を飲んでも乳がんの発症は増えないのか？ [433シェア](#)

[J. Clin. Endocrinol. Metab.]

記事の一覧

- サイト紹介
- 協力医師のご紹介
- 医療情報の編集プロセス
- MEDLEYニュースについて
- 医師の方へ
- 運営チーム

- 公式ブログ
- 公式Facebook
- 公式Twitter
- お問い合わせ
- ご利用規約
- プライバシー・ポリシー
- 運営会社



本サービスにおける医師・医療従事者等による情報の提供は、診断・治療行為ではありません。診断・治療を必要とする方は、適切な医療機関での受診をおすすめいたします。本サービス上の情報や利用に関して発生した損害等に関して、弊社は一切の責任を負いかねますことをご了承ください。

©Medley, Inc. All Rights Reserved.

[株式会社メドレーの運営サイト]

医療介護歯科の求人ならジョブメドレー | 老人ホーム口コミなら介護のほんね